

GREEN Rotary-Club



2011-2012年度 テーマ

国際ロータリー 「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

R.I. 会長 カルヤン・バネルジー

地区方針 「心機一転」

R.I. 2720 地区 ガバナー 本田 光廣

熊本グリーンR.C. 「力を合わせよう」

熊本グリーンR.C. 会長 江上 泰弘

例会 日：毎週月曜日 18:30~19:30

例会 場：熊本市城東町4-2
熊本ホテルキャッスル
TEL 096-326-3311

創立：平成元年2月22日

会長：江上 泰弘

幹事：松山 優喜

会報担当：河野 景治

事務所：熊本市城東町4-2
熊本ホテルキャッスル内
TEL 096-354-4521
FAX 096-354-4053
E-mail: kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2012年1月30日】

第1031回

2011-2012年度 第25回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

・ロータリーソング「手に手つないで」

2. 食事と交歓

来訪者の紹介

なし

友情の握手

会長スピーチ

(江上 泰弘 会長)

今月は、ロータリー理解推進月間です。ロータリーについて知識と理解を一層深め、ロータリアン以外の、一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間です。一月も終わりですが、今頃ガバナー月信を見て再確認したところでした。その月信に「旦那さんは花咲か爺さん…枯れ木に花を咲かせましょう」と書かれていました。そして 昔の商家の旦那は儲けを社会に還元し、人を喜ばせる粋さや徳がありました。(旦那の語源は梵語のダーナです)。ダーナという言葉は、「安らぎを与えてくれる人のこと」をいいます。だから、「助けて」と言われれば、旦那さんは、その人を助けたいのです。そうやって助けてあげると、「ありがとう」が返ってくる。そうやって世の中は助けたり、助けられたりで「ありが

とう」がいっぱい溢れてくる。それが本来の福祉社会です。「ありがとう」の言葉が溢れる国をつくれ、枯れ木に花を咲かせる国家になるのです。ロータリアンは花咲か爺さんなのです。

「花咲か爺さん」になれてるかなと自問しました。

今日は例会の後半の時間にクラブ協議会が予定されております。

半期が終了いたしましたので、前半の実績と反省と後半の計画の確認ということになるかと思います。皆様 宜しくお願いいたします。

幹事報告

(松山 優喜 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「抜粋のつづり その七十一」の寄贈

本日、例会場受付にて配布致しました「抜粋のつづり」はクマヒラ金庫の創業者より親子3代に45万部ほどを無料配布されています。ここ1年間の新聞、雑誌、書籍などから、心に響くエッセイ、コラムを33編を抜粋しまとめておられます。朝の朝礼や挨拶等に引用されても良いかと思われますのでご一読下さい。



卓話
予定

- 2/6 米山奨学生 申 福 貞氏(国籍:中国)(スポンサークラブ 熊本'05福祉RC)
- 2/13 本田 悟士 会員卓話
- 2/20 熊本グリーンRC創立23周年記念例会(於:キャッスル 2F)

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

■ 例会取止め・変更

● 熊本平成RC

・2月8日(火)の例会は、新入会員歓迎会のため、同日18:30より行います。

・2月22日(水)の例会は、熊し水前寺公園RCと合同例会のため、同日18:30よりメルパルクホールにて行います。

● 上通り連合団とその他なまけ者一同

(河島 一夫 君、栗山 義則 君、葉 高源 君、仙波 洋八 君、大友 利行 君)

「風邪が流行しています。私も風邪を引いて苦しんでいましたが、99.5%治りましたので出席しました。皆さん寒い日が続きます元気でお過ごし下さい。」

出席報告 田中 純司 クラブ管理運営委員

	会 員 総 数	26名	出席 率
1 月 30 日	出席免除会員数	2名	79.17%
	計算上会員数	24名	
	出席会員数	17名	
1 月 16 日	前回の出席会員数	19名	88.00%
	メイクアップ数	3名	
	修正出席会員数	22名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
1/25 水前寺公園RC 山下(佳)君、石浦 君、松山 君			

3. 例会プログラム

第4回クラブ協議会



「各委員会の今年度前半の活動経過報告と今後の計画発表」

委員会報告

なし

スマイル 仙波 洋八 会員

● 江上 泰弘 君・松山 優喜 君

「今日は半年を経過してのクラブ協議会です。残りの半年は大きな行事や予定が計画されております。皆様後半分宜しくお願い致します。」

● 河野 景治 君

「本日は仙波会員の隣でスマイルさせて頂きました。いつも閉会間際ばかりでご迷惑をお掛け致します。江上会長も残りの半期頑張ってください。」

● 中島 光司 君

「プロ野球のキャンプインまであと2日です。ジャイアンツの宮崎キャンプが待ち遠しく感じます。仙波会員の言われる様にやっぱり巨人軍が優勝しないと元気が出ませんね! 又、寒い冬が早く終わって欲しいと願う毎日です...。」

● 廣坂 彰雄 君

「先週は妻の誕生のお祝いをして頂きありがとうございました。プレゼントの花大変喜んでおりました。」



4. 閉会、点鐘 臨時理事会開催

地元在住のロータリー学友に声をかけよう

新世代プログラム参加者を未来のロータリアンにする3つの方法

想像してみてください。もし、元ローターアクト、元国際親善奨学生、元青少年交換参加者が、みな会員になってくれたら、あなたのクラブはどう変わるでしょうか。

毎年、才能があり、献身的で、エネルギッシュな若い男女が、何百人とロータリーのプログラムに参加しているにもかかわらず、いずれロータリアンになるのは、その3パーセント足らずです。



「私たちロータリアンは、この人たちがみな、抜きん出て素晴らしい若者だと感じ、中には、時間と資金を費やして、親善奨学生としてロータリーを代表し海外で学んでもらった人たちもいるのです。ロータリアンになってほしいと私たちが思っているのは、まさにこのような人たちではないでしょうか」、とロータリー・コーディネーターであるジュディ・ピアード・ストルービングさんは訴えます。

学友を勧誘する際には、以下3つの方法をご検討ください。

1. かかわりの途絶えた学友と再びつながりを作る。

「人的ネットワークを常に広げ、ロータリーとのかかわりが途絶えている学友とつながりを作っていくこと」が学友を勧誘するカギ、と元国際親善奨学生のピーター・カイルさんは語ります。現在、ロータリー財団学友諮問委員長を務めているカイルさんは、米国首都ワシントン地域で、学友との月例親睦会を催しています。参加者の3分の1はロータリー・プログラムの元参加者が占めており、このグループがいずれは新ロータリー・クラブに発展するのではないかと期待されています。

2. 人的ネットワークを築く。

「ロータリーで通常『職業奉仕』、『親睦』と呼ばれているものを、私たちのクラブでは『人的ネットワーク』と呼んでいます。学友にとって貴重なものです」、と語るのは、元ロータリー平和フェローで、米国、サウスウェスト・Eクラブの会員であるダニエル・スタージョンさんです。スタージョンさんのクラブでは、ネットワークの概念をもう一歩推し進め、平和活動専門家のネットワークを構築しています。クラブでは、3年以内に50人の専門家にネットワークの一員となってもらい、地区やクラブが奉仕プロジェクトを行う上で、アドバイザーとなってもらうことを目標としています。

3. ロータリーを学友にとって意味あるものとする。

既に多忙な若い職業人をロータリーに勧誘する上での最大の難関が、ロータリアンになることで生じる新たな時間的コミットメントであることは、スタージョンさんも認めることです。その反面、地域社会での奉仕活動に参加する機会が生まれることは大きな魅力となっているため、学友たちは、ロータリアンとしてのコミットメントが良い変化につながることを期待しています。スタージョンさんは、クラブ例会では学友たちのキャリアや関心事に即したトピックを採り上げるよう勧めています。

未来が今に変わるとき

健康な生活を送るための処方箋

過去の活動から学び、持続可能なプロジェクトを実施するグアテマラと米国のロータリアン

グローバル補助金を利用して、グアテマラの病院に新生児用の医療機器を提供するプロジェクトは、地元地域に長期的かつ持続可能な影響をもたらしています。

54,322米ドルを投じたこのプロジェクトでは、サンティアゴ・アティランの病院スタッフに新生児用医療機器の使い方と管理方法を研修し、またマヤ先住民の居住地域で、栄養や衛生について指導しました。

プロジェクトを提唱したのは、グアテマラ・ノルテ・ロータリー・クラブ(第4250地区)と米国のサニー・ベール・ロータリー・クラブ(第5170地区)です。グローバル補助金の要件となっている持続可能性を盛り込むため、両クラブは提案書を作成する際に、「医療機器を必要とする地域において、どのようにして人々の健康状態を改善し、また将来的に機器の必要性を減らす、またはなくすにはどうしたらよいか」を検討したと言います。5170地区のガバナ・エレクトで、提案書を作成したジョー・ハミルトンさんは、グアテマラの元クラブ会長、ジョセフ・フィッシャーさんに連絡を取り、これまでにともに実施したマッチング・グラントの経験から持続可能性のヒントを探ることにしました。



グアテマラの病院の待合室で、
保健についてのDVDを見る患者とその家族

過去の補助金プロジェクトは、さまざまなマヤ先住民居住地域で、正しい食生活、疾病、事故防止に関する知識を広めるため、教育用DVDを配布するというものです。思案を重ねた末、病院の患者のニーズに合った教育用DVD

は、今回のグローバル補助金プロジェクトでも効果があるだろうという結論に達しました。新たに制作するDVDは、栄養、疾病、母子の健康、衛生、アルコール中毒や家庭内暴力の問題などを地元の言語で説明し、病院の待合室のテレビで流すことになりました。

「通常、ほとんどの患者は家族と一緒に病院に来ますから、ビデオの効果は間違いなしです」とフィッシャーさん。「ビデオではできる限り、現地の人々の生活と同じような状況を再現して、わかりやすく解説するよう工夫しました。このDVDはほかの病院や保健所、教会などでも活用されています」

DVDは、街の講堂で上映されるほか、地元のテレビ局を通じて45,000人の視聴者にも見てもらう計画です。グアテマラ以外に、中央アメリカやメキシコ南部でもこのDVDを活用できる、と提唱ロータリアンは話しています。

ウェビナー(無料)をご利用ください

オンラインを利用して研修を行うウェビナーは、クラブにとって役立つリソースとなります。クラブへの公式訪問、地区大会、月信を通じて、ウェビナーの活用を推進してください。ウェブサイト(www.rotary.org/webinars、画面下の「日本語」をクリック)より、ウェビナーについての詳細をご覧ください、過去のウェビナーの録音をお聴ください。

ご存知でしたか

新しいオンライン寄付システム 新しいオンライン寄付システムを利用して、ロータリー財団への自動定期寄付が可能になりました。日本円でご寄付いただけるほか、6つの重点分野のいずれかに用途を指定して年次寄付を行うこともできます。

マーシーシッピングとの新たな提携

ロータリー財団は3つ目の戦略パートナー(協力組織)として、マーシーシッピングと提携を結びました。マーシーシッピングは、発展途上国の人々に無料で質の高い医療を提供し、開発を援助している世界的慈善団体です。

小口融資プロジェクトのための補助金

オイコクレジットとのパッケージ・グラントが申請可能となりました。この補助金では、クラブや地区が、オイコクレジットのネットワーク内にあるインド、フィリピン、ウルグアイの小口融資機関と協同で研修を実施します。補助金と申請方法の詳細はこちら。

オンライン版の年次報告

ロータリーは、初のオンライン版「年次報告」を作成しました。この報告にはビデオやさまざまなメディアが盛り込まれ、ロータリアンによる幅広い活動の様子やロータリーの財務状況が示されています。冊子版の年次報告はオンラインショップ(shop.rotary.org)から限定部数をご注文いただけます。